

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	205	学校名	仙台市立五城中学校	校長名	菅野 勝紀
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のテーマ

「学校生活の中で推進する環境教育」



2 取組の紹介

(1) ペットボトルのかわりに「マイボトル」

日常的な水分補給の際、ペットボトルのかわりに水筒の「マイボトル」を持参させています。水やお茶、スポーツドリンクを入れ、生徒たちは毎日持参することができます。その習慣が身に付き、お弁当の時でもペットボトルを持ち込むことはありません。「ゴミを増やさない」取り組みです。

(2) 「エコな」お湯づくり（冬期）

光を吸収する黒や濃い色のビニールテープを巻いたペットボトルに水を入れ、朝から窓際に置いて置くと、太陽熱で午後にはお湯になっています。

生徒達はこのお湯を拭き掃除などに利用しています。（加湿器の中の、暖まった水を使うこともあります。）太陽光を使った「エコなお湯作り」や加湿器のあたたまった水を再利用し、エネルギーの節約をしています。



(3) 清掃用具の整備

整美委員会の呼びかけで、掃除に使う自在ぼうきの先についたゴミを生徒が丁寧に取り除き、ほうきの使用期間を少しでも長く延ばせるように取り組んでいます。また、古くなって使いづらくなった自在ぼうきについては、先の部分だけを取り替えるようにし、廃棄部品を少なくするように心掛けています。

(4) コンタクトレンズ空ケースの回収

保健委員会の呼びかけで、使用済みのコンタクトレンズの空ケースを回収しています。多くの生徒の協力で、毎月500個近くの空ケースを回収することができました。回収した空ケースは企業へ送り、日本アイバンク協会の活動に役立ててもらおう予定です。



3 取組の成果

生徒たちは、学校生活を「エコ」な視点から見直し、少し工夫してみることで、資源を大切に使うことにつながることに気付くことができたようです。

また、手洗いの石けんを「ワンプッシュ」で使ったり、トイレや教室の電灯をこまめに消灯したりして節電に努める生徒がいるなど、エコに対する意識が身に付いていることがうかがえます。

今後は整美委員会などの委員会ともさらに連携しながら、身近な工夫で環境に優しい取組みを計画し、呼びかけていきたいと思います。